

第1学年道徳科学習指導案

1年1組 指導者 森重孝介

題材 「〇〇したい思い」をコントロールするには

1 本題材でめざす子どもの姿について

対象と向き合う子どもの姿【対】	他者と向き合う子どもの姿【他】	自己と向き合う子どもの姿【自】
○かぼちゃや周囲の思いや態度を自分なりに捉え、その理由について考えている。	○つるの伸ばし方を話し合う活動の中で、友達と自分の考えとの違いについて考えている。	○節制する態度について、自己を内省し、これからの自分のよりよい生活の在り方を考えている。

2 めざす子どもの姿を実現するために

本学級の子どもたちは、「外で自由に遊びたい」や「自由帳に好きな絵を描きたい」など、素直な思いを表出し、より大きく成長しようとしている。しかし、自分の思いが過ぎ、自己中心的な考えに陥るあまり、他者や集団の迷惑となることで、問題を発生するまでに至ってしまう子どももいる。このような子どもたちが、自分をコントロールする大切さについて学習していく。このことは、自分自身の自己中心的な態度を見直し、他者や集団を意識したよりよい態度を培うことにつながるであろう。

本時は、内容項目A「節度、節制」に基づいて、自分をコントロールする大切さに気付き、節度をもって節制を心掛けた生活を送ろうとする態度を培う学習である。本教材「かぼちゃのつる」は、成長したいという思いをもって、かぼちゃがぐんぐんつるを伸ばそうとする場面から始まる。つるを伸ばそうとする中、道を横断したり、すいかの畑に入ったりすることで、すいかや犬から忠告される。しかし、その忠告を聞かず、トラックにつるを轆かれてしまい、「痛いよう痛いよう」と泣き叫ぶのである。子どもたちは、忠告を聞かず、つるを伸ばし続けたかぼちゃに対して批判するであろう。その際、かぼちゃに忠告したすいかや犬の思いを意識させ、かぼちゃの思いについて話し合うことを大切にしたい。そうすることで、自己中心的な態度は周囲から良く思われないうことであるが、「〇〇したい思い」は誰しももつものであることに気付き、より自分をコントロールする大切さについて考えを深めていくことができるからである。

そこで、以下のような支援を具体化する。

- 実際につるを伸ばしたり、矢印で人物の思いのつながりを板書化したりする活動を仕組む。そうすることで、「〇〇したい思い」や自己中心的な態度、周囲の思いを視覚化し、自分をコントロールする課題について考えることができるようにする。【対】
- つるの伸ばし方とそのように伸ばした理由について話し合う活動を仕組む。そうすることで、他者や集団を意識したよりよい態度を考えることができるようにする。【他】
- 「今日学んだ大切なこと」について問い、発言した内容を視点に振り返るよう促す。そうすることで、自分自身が他者や集団を意識したよりよい態度について取り組もうとする思いを深めることができるようにする。【自】

3 本題材における評価の視点

- (1) 自己中心的な態度や周囲の思い、自分の「〇〇したい思い」を踏まえて、自分をコントロールする大切さについて考えている。
- (2) 自分をコントロールする大切さについて、自分自身の生活経験と比べて考えている。

4 本時案 【平成30年5月24日 13:50～14:35 1年1組教室】

- (1) ねらい 自分を抑える思いと「〇〇したい思い」との違いについて話し合うことをとお

して、自分をコントロールする大切さについての考えを深め、よりよい生活をしていこうとする態度を培う。

(2) 学習過程

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
かぼちゃのつるを伸ばしてみよう。		
<p>1 伸ばしたい思いについて発表する。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材への関心 <p>2 かぼちゃや周囲の思いについて話し合う。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己中心的な態度 周囲の捉え方 	<p>A 僕は、どんどん伸ばしてみるね。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伸ばすほど、よい気持ちになるよ。 けれども、道路もあるし、その先には、すいかがいるよ。こんなに伸ばしてよいか。 蜂は、人が通る道だよって教えているよ。 <p>・教えてくれているのに、かぼちゃはつるを切られて痛い思いをしているね。</p> <p>A 話を聞かないからつるを切られてしまったのだね。つるを伸ばすことがいけないよ。</p> <p>B そうではないと思うよ。相手のことを考えずにつるを伸ばすことがいけないのだよ。</p> <p>A どう伸ばしたらよいか。</p> <p>-----</p> <p>どういうふうにつるを伸ばせばよいか</p>	<p>○実際につるを伸ばす活動をさせ、自分も○○したいと思ったことはないかと問う。そうすることで、つるを伸ばしたい思いと○○したいという自分自身の思いとを関連付けて考えることができるようにする。【対】</p>
<p>3 他者や集団を意識した態度について話し合う。(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者や集団に対する意識 よりよい生活を送ろうとする態度 <p>4 学んだことをもとに振り返る。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までの自分 これからの自分 	<ul style="list-style-type: none"> 私は、つるを切られたくないから、あまり長く伸ばさないようにしたよ。 <p>A 僕は、道の方にいかないように伸ばしたよ。だって、みんなが通りにくいからね。</p> <p>B すいかもつるを伸ばすのだから、道路がなくても、伸ばしすぎないことが大切だね。</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、広いところに伸ばすようにしたよ。だってつるを伸ばしたいもの。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A ○○したい思いは大事だけど、人のことを考えないといけないことが分かったよ。今までの自分はどうだったかな。</p> <p>B 相手のことを考えていくことが大切なのだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> これからは、友達やみんなからの話を聞いて、遊んでいこうと思うよ。 </div>	<p>○ つるの伸ばし方を図で表し、理由とともに説明するよう促す。そうすることで、友達のことを視覚的に理解し、話し合いをしやすいようにする。【他】</p> <p>○自分を点数化し、ペアで理由を話し合うよう促す。そうすることで、これからのよりよい態度について考えることができるようにする。【自】</p>

(3) 板書計画

